
Night of Blood **第一章** -Impulse duet-

小夜神無

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

N i g h t o f B l o o d 第一章 - I m p u l s e d
u e t -

【Nコード】

N 7 8 6 2 C

【作者名】

小夜神無

【あらすじ】

- 世界は偽善で出来ている、偽りの自分を従え、心を閉ざした青年…拭えぬ罪を背負い、孤独に怯える少女…二人の「衝動」^{オモイ}が織り成す、戦慄の鮮血学園風ファンタジー！！（えw

序章 暗雨・Black rainy・Prologue（前書き）

Night of Blood第一章は、主に二つのカテゴリーから構成されています。

1・Daytime ver.

キャラクター達の日常生活、

ギャグテイスト風味の、少し軽めな話です。（日中の話）

2・Midnight ver.

キャラクター達の非日常、ファンタジーの部分が集約されています。シリアス風味で少し重く、ところにより残酷な表現があるかもしれません。（夜間の話）

序章 暗雨・Black rainy・Prologue

その日は、暗い雨の日だった。

忘れたくても、記憶から離れることはない、
人の涙を代行したかのような、暗く悲しく、冷たい雨の日だった。

みな、泣いていた。

どこを見ても、そこには泣きじゃくる人の壁。

ただその中心にいながら、私だけがただ静かに、暗い空を見つめていた。

真冬に降る雨、それは冷たく寂しく、私を世界の中で
「孤独」にしてくれた。

寂しくはない。

怖くはない。

降りしきる雨すらも、冷たいと感ずることはない。

もはや、この身にあたたかい温もりなど不要だと、そう感じていた。

私はその日に、他の誰でもない自分自身を殺した。

この世界に生きるのは、私によって作られた偽りの私。
舞台を演じる俳優のように、私という役を演じるだけの私。

私は、弱かった私を、
絶対に、許さない。

雨があがれば、そこにいるのは偽りの私。
私の命は、たった一つの約束のために…

ただそのために、この世界で、

偽りの私が演じる、偽りの日常を歩み続ける。

―世界は偽善で出来ている、

偽られた感情が真実なら、

何を信じて生きられるのか―

その問いに、答えてくれるべき人は、
…私の前で今、永遠の眠りについた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7862c/>

Night of Blood 第一章 -Impulse duet-

2011年10月4日11時24分発行